

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	防災対策避難路整備事業	会計	一般会計	事業No.	563	施策順No.	41-014
事業種別	政策・重点	予算科目		8-2-3-12-4			
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり	課等名		土木課			
施策	41 災害対策の推進	事業期間	開始	終了			

1 事業の目的

事業の目的 は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象 誰、何に 対象を どう変えるか	指定の防災避難路。 避難路を使用して避難をする住民。	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	A:十分達成した B:どちらかといえれば達成した C:どちらかといえればできていらない D:ほとんど達成できていらない	
		路線数:路線			4	6	6			
事業の目的 は「対象」を「意図」した状態にすることです	意図 対象を どう変えるか	対象市民数:人		105867	105691	105036				
		避難道を拡幅し、スムーズに避難場所へ移動できるようにする。	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度 実績	20年度 実績	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	目標達成度	
22年度の目標達成度に対する振り返り 【政策的事業のみ評価】										
年度当初の計画6路線の整備予定通り実施できた。										

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度 (仕組み)説明	有事の際に地域住民が安全に避難場所へ避難することが出来るよう、指定避難路を地区に応じた整備をする。		
22年度 事業内容	事業内容		名称
	1 测量設計・用地補償・物件補償・工事施工 (1)伊賀良409号線(三尋石) (2)1-38号殿岡桐林線(新井原) (3)竜丘198号線(駄科) (4)2-49号長野原線(長野原) (5)千代15号線(法全寺) (6)上郷5号線(北条)	1 事業実施路線数	1 6路線
23年度 実施計画	2 测量設計(社会资本整備総合交付金事業…国経済対策分) (1)1-38号殿岡桐林線(新井原) (2)竜丘198号線(駄科)	2 事業実施路線数	2 2路線
	1 测量設計・用地補償・物件補償・工事施工 (1)伊賀良409号線(三尋石) (2)1-89号御殿山線(御殿山) (3)竜丘198号線(駄科) (4)2-49号長野原線(長野原) (5)千代15号線(法全寺)	1 事業実施路線数	1 5路線
	2 工事施工(社会资本整備総合交付金事業…国経済対策分) (1)1-38号殿岡桐林線(新井原) (2)竜丘198号線(駄科)	2 事業実施路線数	2 2路線

3 事業コスト

事業費	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(国)社会资本整備総合交付金(活力創出基盤整備)(5.5／10) (地)防災対策(充当率75%)50,400千円、一般単独(充当率100%)330千円 (そ)繰越金 21→22繰越明許費1,600千円 22→23繰越明許費41,286千円
	特 定 財 源	国庫支出金 県支出金 起 債 そ の 他	69, 300	50, 700		
	一般財源	400	400	15, 900		
	計 (A)	16, 423	16, 444	63, 300		
	正規職員所要時間		1, 056			
	臨時職員等所要時間		24			
	人件費計 (B)		3, 802			
	トータルコスト A+B	109, 223	67, 935			
			71, 737			

4 事業に対する市民や議会の意見

有事の際の安全な避難路の確保について市民、議会等から要望が強い。

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民、市内滞在者、財産の災害や火災の被害を軽減する	施策の成果指標又はムース指標	市民が災害にそなえている割合(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	有事の際に地域住民が安全に避難所へ避難する為の指定路線の整備が進み確保できた。 避難場所への指定路線で、未整備路線、箇所の整備を進める必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	指定路線の拡幅、改良が行われたことにより、避難所へ安全でスムーズに避難できるようになった。 指定路線での未整備路線・区間の整備を引き続き行う事により安全でスムーズな避難路の成果が向上する。		
コストを削減するためどのような工夫をしてきましたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	工法の検討によるコスト縮減を図る。 工法の検討や効率的な事業実施によりコスト縮減を図る。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り 後期に向けた課題	市道の整備であり、道路管理者として道路整備を行った。 市道の整備であり、引き続き道路管理者として関与する。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか)	4年間の振り返り 後期に向けた課題	①市道の管理者は飯田市であり、通行車輛及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性の向上の道路整備。 ①市道の管理者は飯田市であり、通行車輛及び歩行者の安全確保。②道路管理者としての安全確保と利便性の向上の道路整備。		
全体を通じて	4年間の振り返り 後期に向けた課題	指定路線の整備を進めたことにより、有事の際などの避難所へ安全でスムーズに避難できる路線が確保できた。 未整備路線・区間の整備を引き続き取り組み、拡幅改良を行う事により、一層効果が期待できる。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------